

流通とSC・私の視点

2009年10月18日

視点(1161)

日本のSCの飽和度指数とは!!

アメリカの小売業に占めるSCのポジショニングと日本の小売業のポジショニングには数値の前提条件に大きな差があります。

アメリカではSCの売上高は小売業に占める売上高の50%強、コンビニエンスセンター(超小型のSC)も含めると70%となっています。

一方、日本のSCは27兆円の売上で、小売業に占める割合は22.6%(27兆円÷119兆円)となっています(小売業には自動車及び外食は除く)。それゆえに、SCの日米の小売業に占めるSCの売上高のシェアは、アメリカ50%、日本23%となりますが、アメリカでは百貨店の大半がSCの中で成立し、かつ中心市街地である都心商業が崩壊していることから、私は、SCの売上高の中に百貨店を付加した売上高が日米での客観数値と思っています。百貨店の売上高7兆円をSCの売上高27兆円にプラスすると34兆円が**仮SCの売上高**となり、小売業に占める割合は**28.6%**(34兆円÷119兆円)となります(百貨店の小売業に占める売上比率は5.9%)。

以上の事を考慮して、私は、郊外立地でのSCシェアモデルを次のように考えています(六車流：流通理論)。

単位：%

マーケットに占める郊外SC業態のシェア(SCの飽和度)	郊外SC業態のシェア	6.8	8.6	10.9	14.5	19.5	26.1	33.0	
	都心のシェア	直下立地	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
		非直下立地	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	実質郊外のSCの業態シェア	直下立地	18.8	20.6	22.9	26.5	31.5	38.1	45.0
		非直下立地	12.8	14.6	16.9	20.5	25.5	32.1	39.0
基準値		SC競争低いシェア 19.5未満		適正競争シェア 19.5～26.1未満		競争激化シェア 26.1～33.0未満		超競争激化シェア 33.0以上	
SCの業態売上に占める個別SCシェア	SC業態に占める個別SCシェア	26.1未満	26.1～33.0未満	33.0～41.7未満	41.7～55.5未満	55.5～73.9未満	73.9～86.0未満	86.0～100.0未満	100.0
基準値		自由競争シェア			寡占シェア			独占シェア	

このような2つのSCのポジショニングの中で、SCの競合状況をモデル化すると次の通りです。

マーケットに占める郊外SCの業態シェア	競争激しい			適正競争			競争少ない		
SCの業態売上に占める個別SCシェア	独占シェア	寡占シェア	自由競争シェア	独占シェア	寡占シェア	自由競争シェア	独占シェア	寡占シェア	自由競争シェア

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車 秀之